

令和6年度事業計画

我が国の65歳以上の高齢者人口は、3,623万人(令和5年9月15日現在推計値)で統計上比較可能な1950年以降初めて減少に転じました。ただ、総人口に占める割合は前年より0.1%増の29.1%と過去最高を更新しました。この割合は人口10万人以上の世界200の国と地域の中で最も高くなっています。また、75歳以上が初めて2,000万人を超え、10人に1人が80歳以上となりました。

さて、甲賀市においても65歳以上の人口が令和6年2月末で25,871人、総人口に占める割合は29.3%となり、前年同期と比べると245人の増加で、過去最高を更新しています。

一方、経済状況を見てみますと今年2月の月例経済報告において、「景気は、このところ足踏みもみられるが緩やかに回復している。」との判断がされているものの、県内の雇用情勢では1月末の有効求人倍率が前月と同水準の1.01倍で求人が減少した産業があるなど物価の上昇等が雇用に与える影響に引き続き注意する必要があるとのことです。

このような中ではありますが、シルバー人材センターは人生100年時代を見据え、健康で働く意欲のある地域の高齢者に対して「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」や「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」に基づき、請負就業、シルバー派遣、職業紹介業務を通じて人手不足分野、現役世代を支える分野等で就業支援を積極的に展開しているところです。

さらには自己実現を目指した各種講座、講習会の実施、同好会やボランティア活動、イベント(マルシェ)の開催など、「働く」「学ぶ」「楽しむ」「参画する」を通じて地域高齢者の「居場所」と「出番」を創出、生きがいの再発見や介護予防の推進、医療費などの社会保障費の削減に大きく貢献しています。

しかし、ここ数年は新型コロナウイルス感染症による影響や高年齢者等の雇用の安定等に関する法律の改正、さらにはインボイス制度(適格請求書等保存方式)導入やフリーランス新法制定に関する対応などシルバー事業を取り巻く環境は大きく変化しており、今後も動向を注視しながら事業推進する状況となっています。

令和6年度も引き続きSDGs(持続可能な開発目標)の推進にも配慮しつつ、女性の活躍を重点とした会員拡大を核に据えて、新しい生活様式に対応した多様な就業機会の開拓や事業の実施、講習会や講座の開催、同好会、ボランティア活動など積極的な事業展開を推し進め、地域社会で一層輝く存在となるよう努めてまいりたいと思います。また、スマホ等を利用した業務連絡やデジタル技術を活用した業務の効率化、会員のデジタルリテラシー(デジタル技術を理解し活用する能力)の向上に取り組み、いくつになっても活躍できることができる「生涯現役社会」の実現を推進してまいります。

【事業実施計画】

1. 就業機会等の確保・提供

- 1) いくつになっても就業可能な仕事の確保・創出に努める。また、就業することが困難になった会員の居場所としてボランティアや同好会活動、カルチャー講座等就業以外の分野でも長く活躍できる環境整備を図る。
- 2) 女性会員の就業ニーズに対応した就業先開拓に努める。
- 3) 就業支援アドバイザーを中心とした事業所訪問活動を通じ新たな職種の開拓を図る。
- 4) 登録会員のデータベース(資格・技能・経験等)を活用した就業機会の確保に努める。
- 5) 人手不足分野や現役世代を支える分野を対象にした派遣就業の積極的な拡大を図る。
- 6) 市や関係団体等連携を図り、家事援助サービスや子育て支援、空家・空地対策に積極的に取り組むことにより就業機会の確保に努める。

○目標契約金額 3億8,400万円 (派遣業務含む)

2. 会員の拡大

- 1) ハローワーク甲賀との連携を図り、シニアセミナーの実施や相談業務を通じて健康で働く意欲のある会員の確保に努める。
- 2) 女性会員の積極的な事業参画がシルバー事業の活性化に繋がると考えることから各種講座、講習会と連携しながら入会推進を図る。
- 3) いくつになっても活躍できる機会の創出に努め、退会抑制を図る。
- 4) シルバーフレンドリーショップ制度(会員優待割引)の協力店拡大による入会推進、退会抑制を図る。
- 5) 会員加入推進期間を設け、「会員紹介カード」を活用して全会員あげて入会推進に取り組む。
- 6) 広報紙「シルバーこうか」や会報紙「シルバーだより」、ホームページ、SNS(パソコンや携帯電話等情報交換ができる方法)、Web広告を利用し活動内容等の周知に力を入れ入会促進に繋げる。
- 7) Web入会システムの活用により、さらなる会員拡大を図る。

○目標会員数 1,278人

3. 安全・適正就業の推進

- 1) 就業前ミーティングの徹底や安全チェックシートの活用、就業現場パトロール強化による事故の未然防止に努め、発生事故については安全・適正就業委員会を中心に現場検証を実施して再発防止策を検討、その結果をシルバーだより等で広く会員に周知する。
- 2) 安全就業推進大会や会員の基礎体力保持を図るための研修会、技能向上のための講習会を開催することで、近年事故件数の多かった転倒事故や草刈時の飛石、剪定時の落下事故防止に繋げる。
- 3) 「シルバーだより」の安全・適正就業コーナーや「こうか安全ニュース」を最大限活用して、安全就業関係情報の提供や事故発生状況の周知をすることにより会員個々の安全意識向上に努める。
- 4) 就業途上の事故の発生が続いていることから、会員の自動車等の保有状況や加入保険の内容を確認、また昨年度より開始した高齢運転者認知機能検査体験講習を引き続き開催し、交通安全意識向上に努める。
- 5) 会員が安心して就労できるよう、厚生労働省が作成した「適正就業ガイドライン」に基づき適正なシルバー事業の推進を図る。

4. 普及啓発の推進

- 1) 年2回発行の広報「シルバーこうか」や毎月発行の「シルバーだより」の内容をより充実させ、シルバーのイメージの転換、向上を図る。
- 2) 定期的に開催するシルバーマルシェやカルチャー講座作品展を通じて積極的に普及啓発に努める。
- 3) ホームページ、フェイスブック、デジタルサイネージ、Web広告等を活用して活動状況等の情報発信に努める。

5. 組織の充実強化

- 1) 「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、会員による事業参画を積極的に推進するとともに理事会、部会、委員会、地域班等の活性化を図り、組織の充実強化に努める。
- 2) 女性会員ならでのネットワークを通じた積極的な活動により、シルバー組織の活性化を図る。
- 3) デジタル技術を活用した事務処理システム導入による組織体制強化を図る。
- 4) 地域班、職群班、就業グループと連携を図り、見積や現場管理など会員主体で実施することにより働きがいのある組織運営を図る。
- 5) インボイス制度(適格請求書等保存方式)やフリーランス新法制定への対応はセンター運営に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営のために引き続き情報収集に努め、適切な対応を図る。

6. 技能講習会等の実施

発注者からの多様なニーズに対応するため、各種講習会、研修会を活用し技能の習得及び人材の育成に努める。

特にデジタル社会への対応が急務の課題となっていることから、引き続き、地域高齢者に対するスマホ講習や相談会の実施によりデジタルリテラシーの向上に努める。

7. 福祉・家事援助(介護支援)サービス事業

高齢者・障がい者が住み慣れた地域や住まい(家)で安心して日常生活が送れるよう市が実施する「高齢者障がい者安心生活支援事業」と連携を図り、家事ができない方の補助や介護保険では適用されない短時間の軽易な作業(電球交換、ゴミ出し、買い物、清掃、外出時の付き添い、公共料金の支払いなど)への就業支援を積極的に行う。

8. 独自事業等への支援

会員の持つ豊富な知識・経験・技能・特技を活かした自主的な活動が展開できるよう独自で提案された事業や会員が講師となり開催するシルバーカルチャー講座やシニアマイスター事業の支援を積極的に実施する。

また、昨年に引き続き高齢運転者認知機能検査体験講習を実施し就業機会の拡大に繋がるよう支援する。

9. 労働者派遣事業及び職業紹介事業の実施

高齢者の多様な就業ニーズに応じていくため、基幹業務である請負就業に加えてシルバー派遣や職業紹介による働き方を積極的に展開する。それぞれの就業においては「臨時的かつ短期的な就業」又は「その他の軽易な業務に係る就業」を基本としつつ、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」第 39 条に基づく特例措置を活用した業務拡大を推進する。

10. 地域社会貢献活動の実施

全国シルバー人材センター普及啓発月間中の10月13日(日)～19日(土)の「滋賀県シルバー環境美化週間」において、組織を挙げて市内一斉清掃ボランティア活動を実施する。

また、「歩いて健康! ゴミ拾いで地域貢献!」を合言葉にシルバー事業の啓発を兼ねて清掃ボランティアウォーキングの開催や各家庭で使い切れない未使用食品等を持ち寄り、それらを甲賀市生活環境課を通じてeこころステーションなどに寄贈するフードドライブ活動を展開する。